

部署名	タイトル	著者
第一内科学(呼吸器内科)	COPD発症のメカニズム-最新の知見. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]	永井厚志: COPD発症のメカニズム-最新の知見. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDの新展開. 実験医学 24(9):3023-3028, 2006[総説]	永井厚志: COPDの新展開. 実験医学 24(9):3023-3028, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態形成と再生への展開. 感染 炎症 免疫 36(3):32-38, 2006[総説]	永井厚志: 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態形成と再生への展開. 感染 炎症 免疫 36(3):32-38, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD-新しいガイドラインに基づいた実地診療に進め方. MEDICAL PRACTICE 23(6):914-920, 2006[総説]	永井厚志: COPD-新しいガイドラインに基づいた実地診療に進め方. MEDICAL PRACTICE 23(6):914-920, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD発症のメカニズム. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]	永井厚志: COPD発症のメカニズム. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD:病態形成機序の解明と治療法の開発. 最新医学 61(2):306-336, 2006[総説]	永井厚志, 青柴和徹, 近藤光子, 玉置 淳: COPD:病態形成機序の解明と治療法の開発. 最新医学 61(2):306-336, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD診療のニューパラダイム. HUMAN SCIENCE 17(2):4-12, 2006[総説]	永井厚志: COPD診療のニューパラダイム. HUMAN SCIENCE 17(2):4-12, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	急性呼吸不全の酸素療法(特集 急性呼吸不全への対応). 呼吸器科 9(4):344-347, 2006[総説]	鬼澤直光, 青柴和徹: 急性呼吸不全の酸素療法(特集 急性呼吸不全への対応). 呼吸器科 9(4):344-347, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	白金ナノロイドは喫煙による気道・肺の急性炎症を抑制する. 総研紀要 26, 2006[研究報告]	鬼澤直光, 青柴和徹, 金山敬宏, 宮本有正, 岡山伸博, 梶田昌志, 永井厚志: 白金ナノロイドは喫煙による気道・肺の急性炎症を抑制する. 総研紀要 26, 2006[研究報告]
第一内科学(呼吸器内科)	Oxidative stress increases Fas ligand expression in endothelial cells. J Inflamm 3:11, 2006[原著論文]	Suzuki Mayumi, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: Oxidative stress increases Fas ligand expression in endothelial cells. J Inflamm 3:11, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	軽い症状でのステロイド使用は? Q&Aでわかるアレルギー疾患 12(4):368-370, 2006[原著論文]	多賀谷悦子, 玉置 淳: 軽い症状でのステロイド使用は? Q&Aでわかるアレルギー疾患 12(4):368-370, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	Role of epidermal growth factor receptor in the proliferation of human airway epithelial cells. Clinical Experimental Allergy Reviews 6(1):111-116, 2006[原著論文]	Tamaoki Jun, Takeyama Kiyoshi, Kaneko Kazuyo, Kondo Mitsuko, Taira Manako, Nagai Atsushi: Role of epidermal growth factor receptor in the proliferation of human airway epithelial cells. Clinical Experimental Allergy Reviews 6(1):111-116, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	喘息の見分け方と治療のコツ. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):418-428, 2006[総説]	玉置淳, 佐野靖之, 小山信一郎: 喘息の見分け方と治療のコツ. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):418-428, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	成人気管支喘息の新しい管理法. MEDICO 37(2):418-428, 2006[総説]	玉置淳, 石井彰, 大利隆行, 大田健: 成人気管支喘息の新しい管理法. MEDICO 37(2):418-428, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Alveolar cell senescence in pulmonary emphysema patients. Am J Respir Crit Care Med 174:886-893, 2006[原著論文]	辻 隆夫, 青柴和徹, 永井厚志: Alveolar cell senescence in pulmonary emphysema patients. Am J Respir Crit Care Med 174:886-893, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	Activation of nuclear factor-kB in airway epithelial cells in patients with chronic obstructive pulmonary disease. Respiration 73:610-616, 2006[原著論文]	Yagi Osamitsu, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: Activation of nuclear factor-kB in airway epithelial cells in patients with chronic obstructive pulmonary disease. Respiration 73:610-616, 2006[原著論文]
第一外科(呼吸器外科)	術前の動脈塞栓術が有用であった縦隔血管腫の一例. 日呼吸会誌 20(05):53-57, 2006	青島宏枝, 小山拓広, 池田豊秀, 清水俊榮, 和知尚子, 前 昌宏, 村杉雅秀, 大貫恭正: 術前の動脈塞栓術が有用であった縦隔血管腫の一例. 日呼吸会誌 20(05):53-57, 2006
第一外科(呼吸器外科)	選択的肺動脈閉塞下に気管支動脈塞栓術を施行した気管支拡張症の1例. 気管支学 28(5):365-368, 2006	青島宏枝, 前 昌宏, 高田陽子, 和知尚子, 小山拓広, 池田豊秀, 清水俊榮, 村杉雅秀, 大貫恭正: 選択的肺動脈閉塞下に気管支動脈塞栓術を施行した気管支拡張症の1例. 気管支学 28(5):365-368, 2006
第一外科(呼吸器外科)	Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5. The Journal of Nuclear Medicine 47(3):426-431, 2006	Fashimoto Yaichiro, Tsujikawa Tetsuro, Kondo Chisato, Maki Masako, Momose Mitsuru, Nagai Atsushi, Onuki Takamasa, Nishikawa Toshio, Kusakabe Kiyoko: Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5. The Journal of Nuclear Medicine 47(3):426-431, 2006
第一外科(呼吸器外科)	胸郭成形術後13年目に結核性皮下膿瘍を形成した症例. 日本胸部臨床 65(9):859-862, 2006	井坂珠子, 小原徹也, 神崎正人, 大貫恭正: 胸郭成形術後13年目に結核性皮下膿瘍を形成した症例. 日本胸部臨床 65(9):859-862, 2006
第一外科(呼吸器外科)	Tissue Engineered Epithelial Cell Sheets for the creation of a Bioartificial Trachea. TISSUE ENGINEERING 12(5):1275-1283, 2006[原著論文]	Kanzaki Masato, Yamato Masayuki, Hatakeyama Hideyuki, Kohno Chinatsu, Yang Joseph, Umemoto Terumasa, Kikuchi Akihiko, Okano Teruo, Onuki Takamasa: Tissue Engineered Epithelial Cell Sheets for the creation of a Bioartificial Trachea. TISSUE ENGINEERING 12(5):1275-1283, 2006[原著論文]
第一外科(呼吸器外科)	シート状フィブリン接着剤、組織代用繊維布の貼付に用いる楔子. 胸部外科 59(12):1086-1088, 2006[原著論文]	神崎正人, 小原徹也, 笹野進, 井坂珠子, 宮野裕, 大貫恭正: シート状フィブリン接着剤、組織代用繊維布の貼付に用いる楔子. 胸部外科 59(12):1086-1088, 2006[原著論文]
第一外科(呼吸器外科)	培養維維芽細胞シート移植による新規気漏閉鎖術. 東京女子医科大学雑誌 76(4):184-189, 2006[総説]	神崎正人, 大貫恭正, 大和雅之, 岡野光夫: 培養維維芽細胞シート移植による新規気漏閉鎖術. 東京女子医科大学雑誌 76(4):184-189, 2006[総説]
第一外科(呼吸器外科)	肺がん検診における経年受診の有効性. 肺癌 46(1):27-31, 2006	笹野 進, 馬場陽子, 大貫恭正: 肺がん検診における経年受診の有効性. 肺癌 46(1):27-31, 2006
第一外科(呼吸器外科)	Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach.. J Control Release. 116(2):193-203, 2006[原著論文]	Yang Joseph, Yamato Masayuki, Nishida Kohji, Ohki Takeshi, Kanzaki Masato, Sekine Hidekazu, Shimizu Tatsuya, Okano Teruo: Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach.. J Control Release. 116(2):193-203, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	甲状腺クリーゼ状態で心肺停止をきたし蘇生した1例. 日本救急医学会関東地方会 27:86-88, 2006[症例報告]	天野寛美, 矢口有乃, 並木みずほ, 寺田尚弘, 今井一登, 原田知幸, 藤井隆一, 武田宗和, 仁科雅良, 石川雅雄, 鈴木 忠: 甲状腺クリーゼ状態で心肺停止をきたし蘇生した1例. 日本救急医学会関東地方会 27:86-88, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	Clinical Significance of Blood Ulinastatin Measurement in Trauma Patients. 日本救急医学会雑誌 17(2):39-44, 2006[原著論文]	Inagaki Nobuhiro, Ishikawa Masatake, Soga Yukihiko, Nakagawa Takao, Suzuki Tadashi: Clinical Significance of Blood Ulinastatin Measurement in Trauma Patients. 日本救急医学会雑誌 17(2):39-44, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	穿孔性胃潰瘍術後に腹腔内出血・小腸壊死をきたし治療に難渋した1救命例. Therapeutic Research 27(2):217-222, 2006[症例報告]	稲田伸洋, 石川雅雄, 武田宗和, 阿部 勝, 今井一登, 曾我幸弘, 中川隆雄, 鈴木 忠: 穿孔性胃潰瘍術後に腹腔内出血・小腸壊死をきたし治療に難渋した1救命例. Therapeutic Research 27(2):217-222, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	当救命救急センターに入院した消化管悪性腫瘍の検討. 日本救急医学会関東地方会 27:42-43, 2006[症例報告]	諸井隆一, 今井一登, 寺田尚弘, 原田知幸, 武田宗和, 矢口有乃, 仁科雅良, 石川雅雄, 鈴木 忠: 当救命救急センターに入院した消化管悪性腫瘍の検討. 日本救急医学会関東地方会 27:42-43, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer. 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):417-429, 2006[原著論文]	Nakada Takuro, Suzuki Tadashi, Kobayashi Makio, Kameoka Shingo: Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer. 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):417-429, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	救急患者・出血患者の輸液. Medical Practice 23(随刊):356-359, 2006[総説]	仁科雅良, 鈴木 忠: 救急患者・出血患者の輸液. Medical Practice 23(随刊):356-359, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	急性肺炎(急性血液浄化法の適応疾患). 救急-集中治療 18(1):116-118, 2006[総説]	仁科雅良, 鈴木 忠: 急性肺炎(急性血液浄化法の適応疾患). 救急-集中治療 18(1):116-118, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	救命救急センターにおける病状説明の問題点(腹部救急医療におけるリスクマネージメント). 日腹部救急医学会誌 26(6):731-734, 2006[総説]	仁科雅良, 武田宗和, 石川雅雄, 鈴木 忠: 救命救急センターにおける病状説明の問題点(腹部救急医療におけるリスクマネージメント). 日腹部救急医学会誌 26(6):731-734, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	消化性潰瘍出血(腹部急性疾患の鑑別診断と初期対応). 救急医学 30(11):1493-1497, 2006[総説]	仁科雅良: 消化性潰瘍出血(腹部急性疾患の鑑別診断と初期対応). 救急医学 30(11):1493-1497, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	Soluble endothelium-selectin(sE-selectin) in critically ill patients(重症患者における血中可溶性E-selectin濃度測定の臨床的意義). 東京女子医科大学雑誌 76(12):467-476, 2006[原著論文]	Terada Takahiro, Nakagawa Takao, Yaguchi Arino, Suzuki Tadashi, Okajima Kenji: Soluble endothelium-selectin(sE-selectin) in critically ill patients(重症患者における血中可溶性E-selectin濃度測定の臨床的意義). 東京女子医科大学雑誌 76(12):467-476, 2006[原著論文]

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

管理責任者氏名	病院長 永井厚志
管理担当者氏名	医療記録管理室長 川島 眞 事務長 柳生良夫

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療記録室他、担当部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来カルテ関係は電子カルテ、入院カルテ関係は医療記録管理室で保管管理</li> <li>その他の書類は、担当部署によりファイル等で保管管理</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	業務管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部署によるファイル、コンピュータ等による保管管理</li> </ul>
	高度の医療の提供の実績	業務管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	業務管理課	
	高度の医療の研修の実績	業務管理課	
	閲覧実績	業務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	業務管理課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	業務管理課長 今井克彦
閲覧担当者氏名	業務管理課長補佐 板垣吉晃
閲覧の求めに応じる場所	会議室等

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 21,470 件	
閲覧者別	医師	/
	歯科医師	
	国	
	地方公共団体	

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	49.7 %	算定期間	平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日
A：紹介患者の数	19,424 人		
B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,095 人		
C：救急用自動車によって搬入された患者の数	4,026 人		
D：初診の患者の数	64,472 人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第6-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (4名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<p>所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 7 ) 名</p> <p>・ 活動の主な内容： ① 医療事故を防止するための情報収集・集計・分析・対策立案・フィードバック・評価</p> <p>② 医療事故への対応：事故発生部門、部門間の連携・調整、および患者・家族への対応、関連委員会の開催</p> <p>③ 医療安全に関する組織横断的改善案の立案と改善実施後の評価</p> <p>④ 職員教育・研修の企画立案実施評価</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 安全管理に関する基本</p> <p>② 安全管理に関する委員会並びに組織に関する基本方針</p> <p>③ 安全管理のための研修に関する基本方針</p> <p>④ 事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善方策</p> <p>⑤ 事故発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥ 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</p> <p>⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針</p> <p>⑧ 法に基づく報告</p> <p>を医療法に基づき整備している。</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理委員会：全病院的または各部門における医療安全管理の体制確保、安全対策の妥当性を審議し改善策の策定及び職員への周知徹底</p> <p>② リカメジャー委員会：リカメジャー小グループ活動にて組織横断的に立案した改善策の標準化を行い医療安全管理委員会に審議事項として報告</p> <p>・ 医療事故防止の観点から警笛事例などの共有を行い必要に応じて部会へ分析・改善案立案などの依頼</p> <p>・ 策定した手順や改善案などについて、現場での問題や課題について再検討</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①第14回医療安全講習会：診療行為に関連した死亡も調査分析モデル事業について</p> <p>②第15回医療安全講習会：リカメジャー委員会小グループ活動報告（内服・外用薬アゲン低減、転倒転落アゲン低減、説明書・同意書ファイル作成、医療安全と時間設定、検査・治療アゲン低減、手術アゲン低減、輸血関連アゲン低減）</p> <p>③第16回医療安全講習会：リカメジャー委員会小グループ活動報告（点滴注射アゲン低減、救急組成体制の整備・維持、臨床研修医・新人医療職への安全教育、個人情報保護と患者識別、機器関連アゲン低減、ドレーン・チューブ関連アゲン低減）</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①安全な点滴スタンドの配備：5脚の点滴スタンド 300 台、輸液ポンプ専用スタンド 200 台を病棟に配備</p> <p>②インスリン指示の統一：指示統一、専用シリンジポンプ並びにシリンジ・接続チューブ等の統一</p> <p>③電波時計設置：リカメジャー委員会小グループからの提言により病棟等 44 箇所に電波時計を設置</p> <p>④輸液シリンジポンプの機種統一化：機種混在による誤操作および輸液ポンプ専用ライン取り違えのリスク対策として機種を統一</p>	